

常任委員会の審査から

24年度予算などについて、各常任委員会で活発な議論がなされ、本会議において、原案通り可決された。各委員会での24年度予算についての主な質疑などは、以下のとおり。

総務常任委員会

「バス路線新設・拡充の社会実験はどこで実施するのか」との質疑に対し、「対象路線については、23年度、中心市街地南部を循環する各ルートの計4路線に絞り込み、現在、対象地域の住民へのアンケート調査を実施している。今後、アンケート調査結果や関係機関との協議等を踏まえ、具体的な路線を絞り込み、2路線の社会実験を実施したい」との説明があつた。



▲市内循環バス きぶな号

保護者や支援者、避難所など

「歳入については、自主財源の積極的な確保に取り組んでいくとの説明があったが、生産人口の減少が懸念される中、どのように自主財源を確保していくのか」との質疑に対し、「自主財源を確保するためには、その根幹となる税財源の確保が重要である。税財源の確保においては、徴収率の向上は当然であるが、宇都宮に来ていたら、または、宇都宮に移り住んでいたくことで、交流人口や定住人口を増やしていくことも必要であることから、人や企業に選ばれるまちづくりを進めていきたい」との説明があつた。

環境経済常任委員会

「農業総務費の事業費全体の総額について、今年度と比べ、約19パーセント増額し、予算計上されているが、どのような点に重点をおいて、24年度の予算編成を行つたのか」との質疑に対し、「東日本大震災や原発事故への対応と復興を柱の一つに掲げ、本市農畜産物の信頼回復に向けたブランド力の強化や宣伝活動、また、県外からの避難者も含め、被災農業者の就労機会を確保するための事業などに重点を置き、24年度予算案を編成した」との説明があつた。



▲がんばろう宇都宮の農業安全安心PR

建設常任委員会

「24年度から的新規事業である住宅改修事業補助金は、利用者への周知が重要な方法で周知していくのか」との質疑に対し、「7月の補助申請の受け付け開始に向けて、広報紙やホームページ、自治会回覧などで市民に周知していくほか、建築業者や銀行などへの周知が効果的と考え、それらの業界団体へ働きかけを行い、利用者への周知に努めていく」との説明があつた。

文教消防水道常任委員会

「24年度に導入を予定している要援護者台帳管理システムの運用経費が計上されているが、導入により現場の活動がどのように改善されるのか」との質疑に対し、「災害時の要援護者と地区的支援者の住民基本台帳データの窓口が可能となるため、行政で転出・死亡などの確認ができるほか、災害発生時に被災地区の要援護者や支援者、避難所などを計上する。

小学校費と中学校費では、学校園において、小中一貫教育カリキュラムに基づく活動などを実施するための小中一貫教育推進費などを計上する。

学校給食調理業務委託や学校栄養士の全校への配置などのための給食運営費、東日本大震災で被害を受けた清原東、清原中央の両小学校の仮設校舎の賃借などの整備のための学校建設費などを計上する。

6月定例会の日程(予定)

月 日	内 容	時 間
6月11日(月)	本会議開会	午前10時
18日(月)	一般質問	//
19日(火)		//
20日(水)		//
21日(木)		//
22日(金)	常任委員会	//
25日(月)		//
29日(金)	本会議閉会	//

※上記日程は変更になる可能性がありますので、ご来場の際は事前にお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話 (632) 2608

倫理委員会の審査結果概要

個人的な旅行で平成23年12月6日、7日の本会議を欠席した議員について、「宇都宮市議会議員の倫理に関する条例」に基づき、倫理委員会(鎌倉三郎委員長)において、計5回にわたり慎重に審査が行われましたが、当該議員の行為が、条例に定める倫理基準である「議員の品位と名譽を害し、市民の信頼を著しく損なう行為をしないこと」に違反するか否かについて採決をした結果、違反すると認定することに同意する委員が、認定に必要な人数に達しなかったことから、倫理基準に違反するとの認定に至りませんでした。

議会事務局総務課 電話 (632)2604

傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、個人・団体を問わず自由に傍聴できます(定員120人)。議会棟6階の傍聴受付でお申し込みください。なお、手話通訳の必要な方は、傍聴したい本会議の5日前までにお申し込みください。

また、各委員会も5人まで傍聴できます。議会棟3階の議会事務局窓口に開会10分前までにお申し込みください。希望者が多い場合は抽選となります。

議会事務局総務課 電話 (632)2604
FAX (632)2613